

## 講演会のご案内

主催：炭素資源国際教育研究センター

協賛：グローバル COE 新炭素資源学

場 所：九州大学筑紫キャンパス C-CUBE C301

日 時：12月10日（金）15:00～17:00

講 師：（株）eL-Power Technology 取締役技術部長 毛利邦彦氏

題 目：「エネルギー 2 題」

- ・最近のスマートグリッドの動向とその本質
- ・石炭火力の発展と今後の IGCC の私的見解

### 講演概要

#### 「最近のスマートグリッドの動向とその本質」

最近、スマートグリッドまたはスマグリとの言葉が新聞紙上やマスメディアに頻繁に登場する。電気自動車から電気を家庭に送電可能な新しい交通インフラ、IT インフラと電力インフラの融合した技術として、話題となっている。これは日本では 15 年以上前から研究が行われていた分散エネルギーネットワークと本質的には異なるものではない。米国のオバマ政権発足時にグリーンニューディール政策の中にスマートグリッドによるグリーンジョブや再生可能エネルギーの導入促進、省エネルギー効果を謳ったものである。欧州ではスマートシティとしてスペインでは急速充電器の開発に伴い電気自動車の普及を視野に入れたスマートグリッドが社会実験として、数か所実施されている。日本は北九州、横浜でスマートコミュニティと名付けられ同様な補助事業として社会実証試験が計画実行される。スマートグリッドとは一体「何であるのか?」、その定義と意義を明確に提示することが必要で、その本質がどこにあるかを、分散エネルギーネットワークを 10 年以上に渡り研究した総括を行い、その本質について私見を紹介する。

#### 「エネルギーセキュリティとして重要を増す石炭技術、過去の技術発展と IGCC の私的見解」

石炭のエネルギーセキュリティおよび日本における石炭火力と IGCC についての今後展開について意見交換を行う。

### 問合わせ先

松下洋介（筑紫）：092-583-8823 matsushita@cm.kyushu-u.ac.jp

深井 潤（伊都）：092-802-2744 jfukai@chem-eng.kyushu-u.ac.jp